SUBARU

FUJIKIKAI

富士機械株式会社

テーマは
「お客様目線の開発・製造」

当社は 75 年を超える歴史を持ち、創業当初から農業用機械やオートバイ、自動車向けの製品製造に携わってきました。

創業直後、自社ブランドオートバイ製造の野心は 600 台の販売に終わりましたが、その後「スバル 360」をきっかけに自動車部品に主力を移し、今では SUBARU グループの一員としてトランスミッションと構成部品の供給で貢献しています。

また農業用機械のノウハウから生まれたトランスミッションやギヤセットは海外有名ブランドのゴルフカートやオートバイに採用され事業のもう一つの柱に成長しています。

SUBARU 車やオートバイ、ゴルフカートのユーザーが当社製品を認識されることはほぼありませんが、当社は常に最終商品とそのユーザーに配慮した開発と製造を心掛けてきました。この姿勢が当社のモノづくりの源であり、変革期を迎えたモビリティ業界で更に歴史を刻むために必要不可欠なものと考えます。

会社紹介パンフレットは若い世代の社員たちがどんな会社にしたいかを考え、その一部を反映したものです。変革期を乗り切るためには人と組織の成長は欠かせません。モノづくりとヒトづくりで SUBARU グループやお取引先、社会に貢献できる会社を目指していきます。

代表取締役　釘本 博文

培った独自技術を活かし
お客様の期待に応える商品提供をします。

01 経営ビジョン

- 存在感をもって SUBARUグループへ貢献出来る企業を目指します。
- 培った独自技術を活かしお客様の期待に応える商品提供をします。
- 地域社会、環境へ貢献します。
- 従業員の働く愉しみの獲得と生活の豊かさ向上に努めます。

02 品質方針

私たちは品質を最優先して、仕事の質の向上に努めます。

03 環境方針

気候変動への対応、生物多様性など地球規模の
環境課題に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

営業・開発部門 | Sales and development department

- 顧客から受注、折衝、得意先開拓、売上高管理
- 研究開発、設計、実験

生産部門 | Production department

- 旋盤加工、マシニング加工他、組立、工具管理
- 生産計画立案、工数管理、物流・出荷
- 計測、検査、原因追及、改善など製品保証に関する全般業務
- メーカー選定・支援、単価契約、コスト管理
- 生産設備の設計や生産ラインの立ち上げ

管理・企画部門 | Management and planning department

- 福利厚生、社会保険、庶務
- 勤怠管理、給与計算、採用、教育
- 会計・決算業務、税務申告、資金管理
- 将来事業の企画立案、予算編成・管理
- 社内システム開発、IT 機器・ネットワーク保守
- 安全、災害防止、健康支援等の安全衛生に関する全般業務

生産拠点 | Production base

本社工場　〒 371-0035
群馬県前橋市岩神町二丁目 24 番 3 号
TEL：027-231-3111（代）　FAX：027-231-3127

芳賀工場　〒 371-0132
（南工場）群馬県前橋市五代町 677-4
TEL：027-269-7795　FAX：027-269-7796

城南工場　〒 379-2111
群馬県前橋市飯土井町 426-5
TEL：027-226-5761　FAX：027-226-5776

伊勢崎工場　〒 372-8508
群馬県伊勢崎市末広町 100
TEL：0270-21-6933　FAX：0270-21-6934

大泉工場　〒 370-0531
群馬県邑楽郡大泉町いずみ 1-3086-1
TEL：0276-61-3700　FAX：0276-61-3709

未来へと進む歯車。

FUJIKAI
富士機械株式会社

開発
国際レベルの技術開発
機能・性能・信頼の実現

品質
技術者の人材教育の徹底
企業体質の強化

環境
環境・地域社会との調和

1943年～

1943年　中島飛行機株式会社前橋第二工場として発足
1945年　富士産業（株）前橋工場として名称変更
1950年　企業再建整備法により富士産業（株）の第二会社として富士機器（株）を設立
1955年　富士機械（株）と商号変更
農業機械用トランスミッションの製造開始
1957年　軽自動車部品の製造を開始
1965年　産業機械用トランスミッションの製造開始
1966年　小型自動車部品の製造開始
1968年　自動車部品工場を増設
1973年　トランスミッション工場を増設

1977年～

1977年　ゴルフカー用デフアクスルの製造開始
1983年　自動車用全自動ギア製造開始
1985年　油圧部品工場を新設
1988年　除雪機用ＨＳＴ付無段変速ミッションの製造開始
1990年　芳賀工場を新設
1993年　軽自動車マニュアルトランスミッション一貫生産の確立
1997年　ISO 9001 認証取得
1998年　芳賀南工場を取得
1999年　i-CVT 用オイルポンプ専門工場新設

2000年
小型自動車用６速マニュアルトランスミッションの製造を開始
新熱処理工場を新設

2002年
ISO14001 認証取得
リアデフＡＳＳＹの製造開始

2005年
旧前橋工業高校跡地一部取得

2006年
富士重工業株式会社
現：株式会社SUBARU の完全子会社化

2009年
伊勢崎工場稼働

2011年
小型用 CVT 部品の製造開始
二輪車向ベベルギヤボックスの製造開始

2013年
小型ハイブリッド車用部品の製造開始

2014年
本社工場に太陽光発電設備設置
バギー車トランスミッション部品の製造開始

2018年
大泉工場を新設

2024年
城南工場
SHEV 部品生産開始

環境への取り組み
気候変動への対応、生物多様性など地球規模の環境課題に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

ISO14001
2002年にISO14001を認証取得。
2005年にISO14001:2004年版を取得。
2017年にISO14001:2015年版を取得。

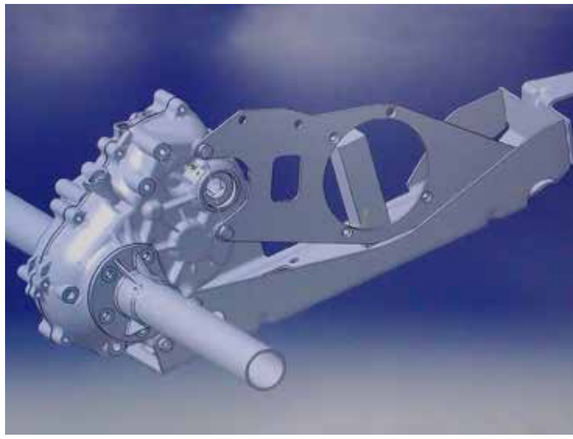
品質への取り組み
全員参加で仕事の質向上、常により良いモノづくりを追求します。
法令・社会規範・規則を遵守し、信頼される仕事をします。

ISO9001
1997年にISO9001を認証取得。
2002年にISO9001:2000年版を取得。
2010年にISO9001:2008年版を取得。
2018年にISO9001:2015年版を取得。

岩神工場

城南工場

クリエイティブな発想で
お客様のニーズに応える技術開発。



製品に求められる機能・性能・信頼の実現を目指し、CAE解析をベースとした実験検証でお客様のニーズに応えます。

自動車産業が進歩するにつれてその根幹である機能部品の分野でも新時代への対応が強く叫ばれています。中でもトランスミッションは、自動車はもとより産業機械、農業機械、レジャー機器にいたるまで幅広く活用され、高精度で高品質な製品が要求されています。この高精度、高品質の追求もすべて開発部門のスタッフの日々の研究、試作の繰り返しによって実現されるのです。また、製品の一括生産システムの基幹として機能するべく最新の技術情報の習得と専門知識の研鑽に努め、国際規格 ISO9001 の認証を受け、国内市場だけでなく、アメリカやヨーロッパ市場にも販路を拡大し、グローバルな視野を持った国際企業を目指します。

また、自動車、産業機械用機能部品は高い信頼性と静粛性が求められます。高い性能を有する製品を、短期間・低コストでお客様にお届けするように、構想段階の試作設計からCAE（Computer Aided Engineering）を駆使し、試作品完成後の実験評価と併せ性能実現を図ります。又、お客様と一体となった製品評価に積極的に取り組み、最適なソリューションを提案します。

Automotive department

自動車部門

SUBARU

GEAR-OIL PUMP DVN

RET-DRIVE PINION·BRG

GEAR-TRF DRIVE

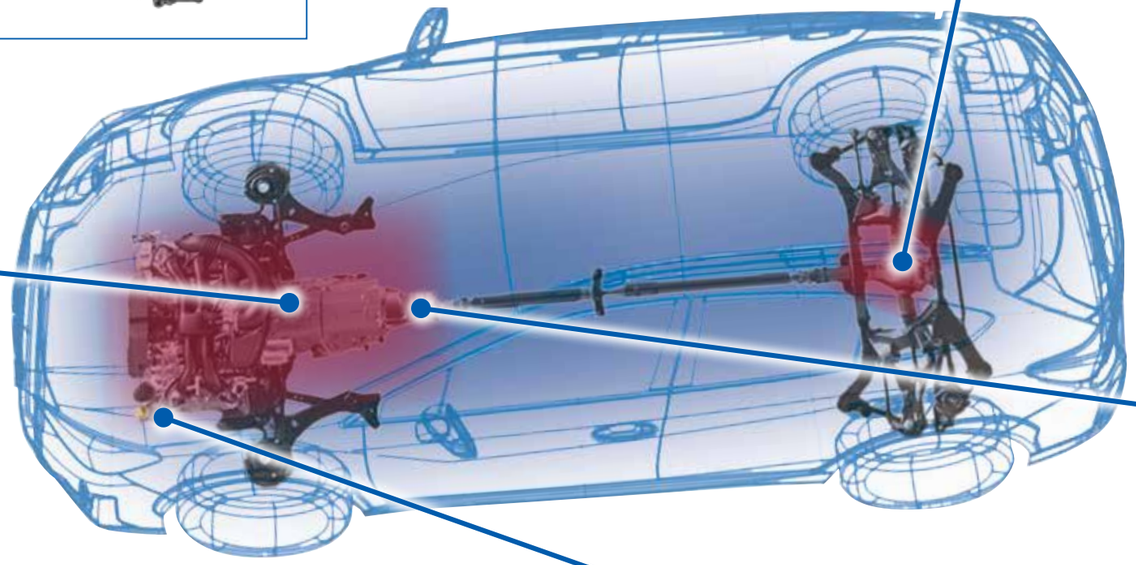
HV用モーターケース

シャフトインプット

CVT用部品

CVT

ギヤシャフトから、オイルポンプ、シフト操作系部品までバラエティーに富んだ部品に対応しています。



リヤデフASSY

リヤデフ

加工から組立まで一棟一貫生産を確立。
高品質、高信頼の部品を提供しています。

エンジン用部品ターボSET

ターボ SET

環境に配慮したターボチャージャーのオイルパン組み立てを担っています。

マニュアルトランスミッション

MT

加工から組立まで、複雑な形状と高い精度の両立により、高い剛性とスムーズなシフトフィーリングを実現しています。

Industrial machinery department

産業機械部門

自動車機能部品メーカーとして研究・開発から生産まで一貫したシステムと蓄積した技術ノウハウにより生まれたトランスミッション製品は自動車産業だけでなく、広く産業機械の分野においてもその技術、性能を評価されています。駆動系はゴルフカーや二輪車をはじめとし、環境･建設機器、芝草刈機、除雪機、収穫機などの農業機械用へと広範囲にわたって使用されています。

二輪車用ベベルギヤボックス

TRIUMPH　オートバイ世界最古の歴史を誇るイギリスの老舗メーカー

ゴルフカー用アクスル

Club Car　ゴルフカー世界トップシェアを誇るアメリカのメーカー

EZGO　Club Car と並び ゴルフカー世界トップシェアを誇るアメリカのメーカー

各種農業機械用トランスミッション

草芝刈機用

作業機用

技術者の人材教育を徹底、
高品質と高効率を極めた生産システムを 確立。

開発から製造まで一貫生産体制を確立している当社では、先進の生産技術、生産設備の導入とともに技術者の教育にも力を入れています。

生産ラインでは加工から組み立てまでの一貫生産体制を強みとしており、この生産システム体制により製造プロセス全体を効率的に管理し、高品質な製品を安定して供給することが可能です。一貫生産体制でお客様に満足していただける製品づくりを日々目指しています。

■ 歯切加工
工具と加工物を回転させながら削ることで歯形を製造します。騒音や振動が少なく、高精度で耐久性のある歯車を生産しています。

■ 研削加工
砥石を高速回転させて工作物の表面を削り、精密な形状に仕上げを施す工法です。当社では 0.001㎜単位まで整え、なめらかな鏡面に仕上げます。

■ モノづくりの流れ

生産部門 ― 旋盤加工 ― 歯切加工 ― 熱処理 ― 研削加工 ― 組　立

■ 素材の購入

■ 旋盤加工
加工物を回転させながら切削加工を行う工法です。外径、内径、ねじ切りなど活躍の場面が多く、当社で主流な工法の一つです。

■ 熱処理
表面効果処理の一つで、高温の浸炭ガスの中に浸すことで製品の強度を向上させるために実施します。耐久性が求められる自動車部品に不可欠な工法の一つです。

■ 組立
大量生産から多品種少量生産まで幅広い組立ラインを構築し、お客様のご期待にお応えします。

■ 検査
ケース、ギヤの加工後測定、歯当たり伝達誤差測定、組立時検査等の定期的な計測で製品の品質を確保します。日々の徹底的な管理で、お客様に信頼される製品を提供しています。

■ 出荷・搬送
リヤデフ組立完成後、パレットに積み込み
SUBARU 車両組付け工場へ出荷・搬送されます。

**社員一人ひとりがいきいきと働き、充実した日々を送れるように、
富士機械では、様々な福利厚生や制度を導入しています。**

クラブ活動

当社では、仕事以外でも社員同士が交流を深め、社員が心身の健康を保ち、リフレッシュできる多様な部活動が盛んに行われています。

野 球 部

登 山 部

自 転 車 部

ゴルフ部

空 手 部

e-sports 部

協賛活動

当社は、群馬県をホームタウンに J リーグで活躍しているプロサッカーチームへの協賛を通して地域社会への貢献活動を行っています。

また、SUBARU グループ企業のモータースポーツ事業への協賛を通して、SUBARU 車やモータースポーツの魅力、車づくりへのこだわりを社員と共有しています。

ザスパ群馬

STI 協賛

カフェテリアプラン制度
（選択式ポイント制福利厚生制度）

プライベート旅行等の宿泊代や子育て・介護用品の購入、社員食堂費用補助など幅広く活用できます。

社員食堂

社員食堂では定番の定食に加えて、カレーや麺類をはじめとした温かいランチメニューを提供しています。社員の皆さんが快適で充実した食事時間を楽しめるよう、多様なメニューと質の高いサービスを整えています。

単身寮

当社では、富士機械大泉工場から約 2.5㎞の場所に単身寮（1K、全 50 室）を設置しています。利便性の高い立地にあり、従業員の皆様が快適な生活を送れるよう環境を整えています。

会 社 概 要

代　表　者	代表取締役　釘本　博文
会 社 設 立	昭和25年7月18日
資　本　金	4億8,000万円
営 業 品 目	
自動車部門	トランスミッションASSY、CVT用部品、リヤデフASSY HV用モーターケース、ターボセット、その他
産業機械部門	ゴルフ場機器 （ゴルフカー・グリーンモア）用トランスミッション 建設機械 （ミニショベル・コンクリートカッター）用トランスミッション 農業機器 （運搬車・防除機・管理機・除雪機）用ギヤBOX 福祉・医療機器 （シルバーカー・CTスキャン）用トランスミッション レジャー機器（バギー車）用トランスミッション 二輪車用ベベルギヤボックス、その他
福 利 厚 生	
社 会 保 険	健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険に加入
体 育 ・ 文 化	従業員の健康・教養・文化の向上と親睦をはかることを目的として厚生委員会を設置 各種クラブ活動を奨励し、各種イベントを実施
厚 生 施 設	食堂、単身寮、スバル車購入貸付金制度
各 種 制 度	財形貯蓄制度、国内留学派遣制度、新卒者家賃補助 カフェテリアプラン、フレックスタイム制度、産休育休制度 イメージアップ活動（若手活躍）、障がい者雇用
関 係 会 社	西野機械工業株式会社 株式会社SUBARU

FUJIKIKAI
富士機械株式会社

本社／工場　〒371-0035
群馬県前橋市岩神町二丁目24番3号
TEL：027-231-3111（代）　FAX：027-231-3127

芳賀工場　〒371-0132
（南工場）群馬県前橋市五代町677-4
TEL：027-269-7795　FAX：027-269-7796

城南工場　〒379-2111
群馬県前橋市飯土井町426-5
TEL：027-226-5761　FAX：027-226-5776

伊勢崎工場　〒372-8508
群馬県伊勢崎市末広町100
TEL：0270-21-6933　FAX：0270-21-6934

大泉工場　〒370-0531
群馬県邑楽郡大泉町いずみ1-3086-1
TEL：0276-61-3700　FAX：0276-61-3709

就活生リーフレットは
こちら ▶